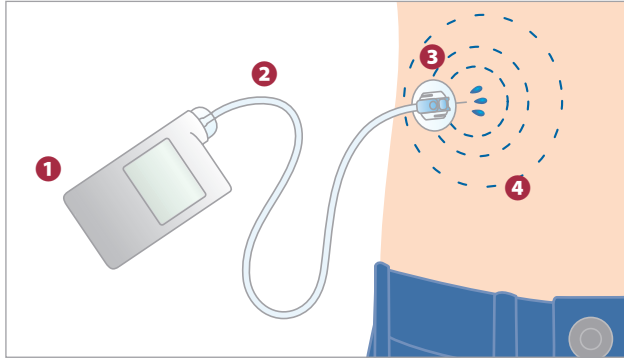


インスリンポンプ療法の紹介

インスリンポンプ療法とは？

インスリンポンプは、あなたの身体のインスリン必要量に合った少量の超速攻型インスリンを体内に注入する携帯型の小型機器です。

インスリンの注入方法とは？



- 1 インスリンポンプは昼夜を通して設定したインスリン量(基礎注入)を注入するようにプログラムされています。
- 2 柔軟性のあるチューブによってインスリンがインスリンポンプから注入セットに送られます。
- 3 皮下に留置した細く柔らかいカニューレを通して少量ずつ、インスリンを体内に注入します。
- 4 インスリンが体内に吸収されます。

インスリンポンプによるインスリン注入方法とは？

インスリンポンプによって体内にインスリンを注入する方法は2つあります。基礎(ベースラル)注入と追加(ボラス)注入です。



基礎(ベースラル)注入とは、食事以外の時間帯に目標血糖値を維持するため、24時間365日持続的に少量のインスリンを注入する方法です。



追加(ボラス)注入とは、主に食事や間食時に必要となる追加のインスリン注入のこと。高血糖を正常値に戻すときに必要量のインスリンを注入する方法です。

インスリンポンプ療法が選ばれる理由とは？

- ライフスタイルに合わせた治療が可能になります
- 多彩なメニューにより、ニーズに合わせたインスリン注入や停止が可能になります
- 重篤な高血糖や低血糖予防に繋がります
- 糖尿病の合併症リスクを軽減させます

インスリンポンプ療法に関する情報をチェックできるウェブサイト

「**インスリンポンプ療法.jp**」

<http://www.medtronic-dm.jp>



インスリンポンプ療法.jp 検索

提供: 日本メドトロニック株式会社

(2014年12月公開予定)

スマートフォンやタブレット端末からもアクセスできます

お問い合わせは当院まで

参考文献：

1. Adrienne D. Wollitzer, Howard Zisser, and Lois Jovanović: Insulin Pumps and Their Use in Pregnancy. Diabetes Technology & Therapeutics. June 2010, 12(S1): S-33-S-36. doi:10.1089/dia.2009.0187
2. Bode BW, Steed RD, Davidson PC. Reduction in severe hypoglycemia with long-term continuous subcutaneous insulin infusion in Type 1 diabetes. Diabetes Care. 1996;19:324-327
3. Doyle EA, Weinzimer, Steffen AT, Ahern JAH, Vincent M, Tamborlane WV. A randomized prospective trial comparing the efficacy of insulin pump therapy with multiple daily injections using insulin glargine. Diabetes Care. 2004;27(7):1554-1558
4. The Diabetes Control and Complications Trial Research Group. The effect of intensive treatment of diabetes on the development and progression of long-term complications in insulin-dependent diabetes mellitus. NEJM. 1993;329:977-986

販売名: メドトロニック ミニメド600シリーズ
医療機器承認番号: 22500BZX00369000

販売名: パラダイム リザーバー
医療機器承認番号: 21800BZY10166000

販売名: パラダイム インスリンポンプ
医療機器承認番号: 21700BZY00314000

販売名: インスリンポンプ 注入セット
医療機器承認番号: 225ACBZX00013000



Medtronic

日本メドトロニック株式会社 ダイアビータス事業部

〒105-0021 東京都港区東新橋2-14-1

www.medtronic.co.jp



Medtronic

インスリンポンプ療法について

成人の患者さんへ



あなたの生活を、よりあなたらしく、
健康な毎日と将来のために

あなたの現在と未来のために

～インスリンポンプ療法はあなたの生活に合わせてカスタマイズでき、充実した毎日と健康な未来をサポートします～

仕事や育児、ライフスタイルに合わせた血糖コントロールを

急な外食や、飲み会でも安心

- かんたんなボタン操作で食事量や内容に応じたインスリン注入が可能になるため、急な誘いや不規則になりがちな食事にも対応しやすくなります。

カスタマイズできる基礎インスリン注入量

- 仕事や育児、運動等、日々異なるあなたの生活や活動に合わせて基礎インスリン注入量をカスタマイズできます。

注射による痛みの減少とともに、あなたらしい生活を*

- インスリン注入のための針を刺す操作は2～3日に1回の頻度です。*
- 一時的な取り外しもかんたんにできるため、お風呂やプールに入ることもできます。

* 1日4回以上の血糖自己測定は引き続き行ってください

より良い効果が不安の低減に

不規則な生活や不測の事態にも

- 基礎インスリンが24時間継続的に注入でき、複数のパターンも設定できるため、不規則な生活になりがちの方も安心です。
- 低血糖が心配になる急な外回り業務や外出の時も基礎インスリンの調整ができます。

不安な低血糖にも

- インスリンポンプは重度低血糖イベントリスクを最大**85%**まで低減させることが報告されています。¹

より良い血糖コントロールのために

- 基礎インスリンを時間帯ごとに細かく設定できるため、たとえば朝の高血糖などの血糖のばらつきを安定させることが可能になります。
- インスリンポンプを使うことにより、持効型インスリン注射と比べて目標A1C値を達成できる可能性が約4倍になるという結果も出ています。²

長期にわたり、あなたの健康をサポート

インスリンポンプは、より良好な血糖コントロールを可能にし、長期的な合併症リスクを低下させます。³



眼の障害（網膜症）

最大で76%まで低減できる可能性があります。³



心血管の障害

最大で41%まで低減できる可能性があります。³



神経障害（ニューロパシー）

最大で56%まで低減できる可能性があります。³



腎障害

最大で69%まで低減できる可能性があります。³

